

【情報公開文書】

観察研究の実施についてのお知らせ

2020年1月1日から2024年12月31日の期間にハイメディック京大病院で検診を受けられた方のうち、先進医療・生活習慣病研究(京都大学医学部附属病院：R-0619)に同意いただいた方へ

京都大学医学部附属病院・京都大学大学院医学研究科では、病気の診断や治療の向上を目指して、ハイメディック京大病院で検診を受けられた方の臨床情報を元に種々の研究を行っています。以下にその概要を記しますのでご理解の程お願いいたします。

2025年4月13日

1. 研究の名称

限局性膵萎縮の頻度の検討

2. 倫理審査と許可

京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。

3. 研究機関の名称・研究責任者の氏名

京都大学大学院医学研究科 画像診断学・核医学
責任者氏名：中本 裕士

4. 研究の目的・意義

限局性膵萎縮は膵癌の診断に先立ってみられることがあることが知られています。このことから、限局性膵萎縮を有する人を同定し精査または慎重に経過観察することで膵癌が早期発見できるのではと考えられますが、そのための前提として検診の対象となるような健常人における限局性膵萎縮の頻度を知る必要があります。本研究では限局性膵萎縮の頻度を調べます。

5. 研究実施期間

1) 研究実施期間

研究機関の長の実施許可日から2028年8月31日までの期間

6. 対象となる試料・情報の取得期間

2020年1月1日から2024年12月31日の間にハイメディック京大病院で検診を受けられた方のうち、先進医療・生活習慣病研究(R-0619)に同意いただいた18歳以上の方

7. 試料・情報の利用目的・利用方法

以下の8に記載の情報をを用いて、限局性膀胱萎縮の有無や部位を評価します。研究に使用する際には、個人を特定できる情報を削除、研究用IDを付与し利用させていただきます。

8. 利用または提供する試料・情報の項目

ハイメディック京大病院で検診を受けられた方の、上腹部MRIの画像、既往歴、血液検査データなどの各種検査結果を、個人が特定できない形で使用します。

9. 利用または提供を開始する予定日

研究機関の長の実施許可日

10. 当該研究を実施する全ての研究機関の名称及び研究責任者の氏名

京都大学大学院医学研究科 画像診断学・核医学
責任者氏名：中本裕士

11. 試料・情報の管理について責任を有するものの氏名又は名称

京都大学大学院医学研究科 画像診断学・核医学
責任者氏名：中本裕士

12. ご自身の試料・情報を研究に利用されたくない方は、下記の15の連絡先までその旨お知らせ頂ければ、解析対象から削除します。

13. 他の研究対象者等の個人情報及び知的財産に支障がない範囲で研究に関する資料の入手・閲覧が可能です。希望される方は、問合せ窓口までお知らせください。

14. 研究資金・利益相反

- 1) 研究資金の種類および提供者：運営費交付金
- 2) 提供者と研究者との関係：資金提供者の研究の企画、運営、解析、論文執筆への関与はありません
- 3) 利益相反：利益相反について、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査しています。

15. 研究対象者およびその関係者からの求めや相談等への対応方法

1) 研究に関する相談窓口

京都大学大学院医学研究科 画像診断学・核医学

大西康之 (Tel) 075-751-3760 (E-mail) nmdioffice@kuhp.kyoto-u.ac.jp

2) 京都大学の相談窓口

京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口

(Tel) 075-751-4748 (E-mail) ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp